

2023年12月期 第3四半期 決算概要

2023年10月

株式会社 MonotaRO

www.monotaro.com

東証プライム市場：3064

事業概要と特徴・差別化戦略

- 主な事業内容
 - ・インターネット等を利用した、事業者向け工場・工事用、自動車整備用等の間接資材の通信販売
(商品点数：2,000万点超・うち当日出荷対象商品65.0万点、在庫点数53.7万点)
- 販売商品の特長
 - ・種類は多岐にわたり、顧客にとっては価格よりも利便性が重要
- 従業員数（連結・2023年9月末）

	正社員		アルバイト・派遣		計	
本社等（内、MonotaRO）	1,117	(604)	473	(395)	1,590	(999)
物流センター（同）	209	(158)	1,536	(1,447)	1,745	(1,605)
計（同）	1,326	(762)	2,009	(1,842)	3,335	(2,604)

- 主な競合
 - ・訪問工具商、金物屋、自動車部品商、インターネット通販サイト等
- 主な顧客層
 - ・製造業、建設・工事業、自動車関連等（中小企業が中心顧客）
- 市場規模
 - ・5～10兆円
- 経営戦略
 - ・インターネットを活用して規模の経済を実現し、幅広い商材と高い検索性で差別化する。
 - ・累積する受注・顧客データベースを整備分析したマーケティングで顧客を囲い込む。
 - ・ソフト開発からコンテンツ制作までの多くを自社で行うことで高い生産性を実現する。

2023年12月期 第3四半期 【单体】決算概要

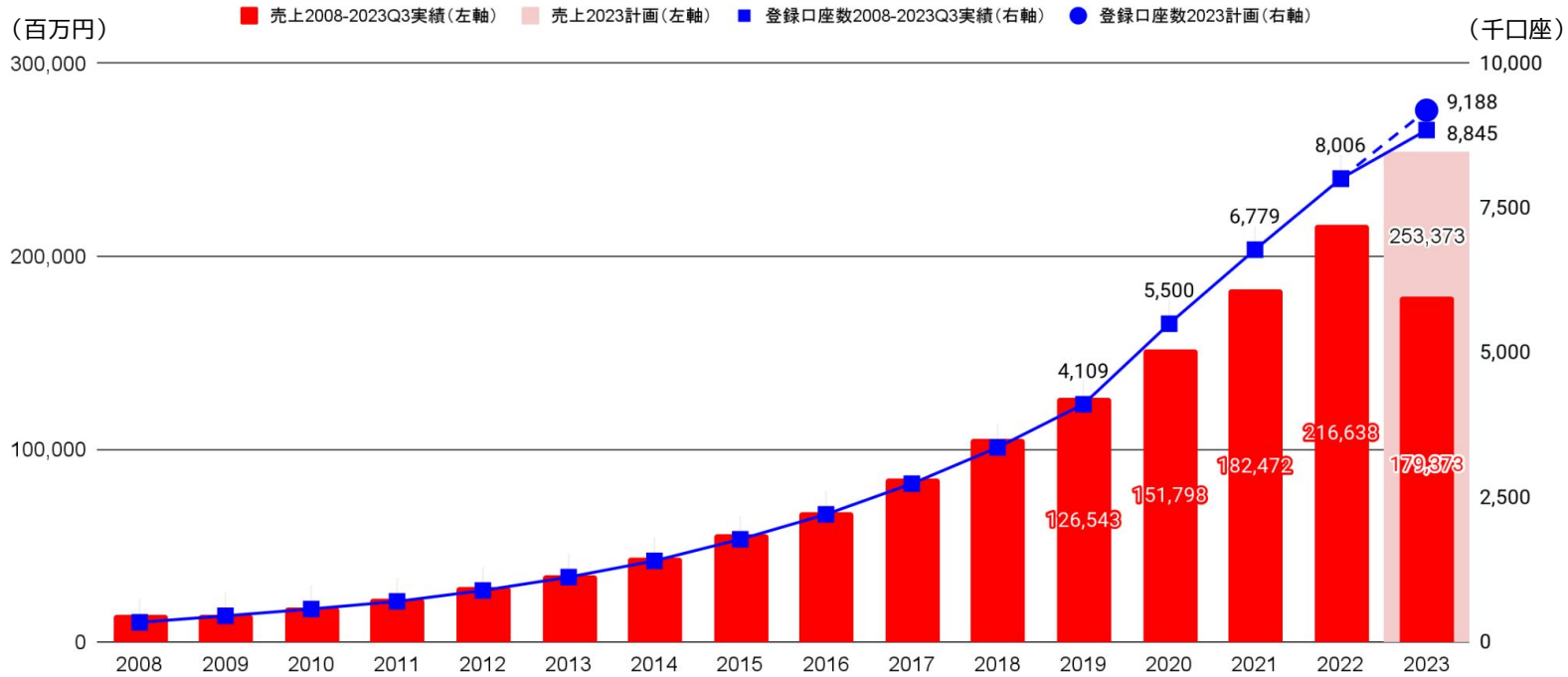
	2022年度Q3累計 実績		2023年度Q3累計 計画		2023年度Q3累計 実績			
	金額 (百万円)	売上比	金額 (百万円)	売上比	金額 (百万円)	売上比	前年比	計画比
売上高	159,405		185,908		179,373		+12.5%	△3.5%
内 大企業連携	36,116	22.7%	50,026	26.9%	48,709	27.2%	+34.9%	△2.6%
売上総利益	46,582	29.2%	55,363	29.8%	54,389	30.3%	+16.8%	△1.8%
販売管理費	26,610	16.7%	31,818	17.1%	30,485	17.0%	+14.6%	△4.2%
営業利益	19,971	12.5%	23,545	12.7%	23,904	13.3%	+19.7%	+1.5%
経常利益	20,192	12.7%	23,513	12.6%	24,127	13.5%	+19.5%	+2.6%
当期純利益 (法人税等税率)	13,421 (30.6%)	8.4%	16,323 (30.6%)	8.8%	16,773 (30.2%)	9.4%	+25.0%	+2.8%

	2022年度Q3累計 実績 (A)		2023年度Q3累計 実績 (B)		増減 (B-A)		
	金額 (百万円)	売上比	金額 (百万円)	売上比			
売上高	159,405	—	179,373	—	増減金額 (百万円)	+19,968	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業者向けネット通販事業：注文単価・注文回数増により成長。 ■ 購買管理システム事業（大企業連携）：連携社数増・注文顧客数増を主因に高成長（対前年同期：+34.9%）。 ■ ロイヤリティ受領額減。
					増減率	+12.5%	
					売上比増減	—	
売上総利益	46,582	29.2%	54,389	30.3%	増減金額 (百万円)	+7,807	<ul style="list-style-type: none"> ■ 商品粗利率増（+0.7pt.：大企業連携売上比率増、円安により輸入商品粗利率減となるも、価格変更による国内商品粗利率増等）。 ■ 配送料・諸掛率改善（+0.7pt.：注文単価増による配送料率減、輸入輸送料率改善、代引・クレジットカード手数料売上比減等）。 ■ ロイヤリティ受領額減。
					増減率	+16.8%	
					売上比増減	+1.1%	
販売管理費	26,610	16.7%	30,485	17.0%	増減金額 (百万円)	+3,874	<ul style="list-style-type: none"> ■ 広告宣伝費率増（+0.4pt.：既存顧客向けチラシ送付増等）。 ■ 人件費率増（+0.3pt.：賃上げ、アルバイト社員への賞与支給等）。 ■ 減価償却費率増（+0.3pt.：猪名川IDC稼働開始等）。 ■ 設備賃借料率増（+0.2pt.：猪名川IDC稼働開始等）。 ■ 業務委託費率減（△0.5pt.：注文単価増が出荷箱数増を抑制等）。 ■ 通信費率減（△0.3pt.：カタログ発送費減等）。 ■ その他費用率減（△0.1pt.：システム利用料増となるも、備品消耗品費減）。
					増減率	+14.6%	
					売上比増減	+0.3%	
営業利益	19,971	12.5%	23,904	13.3%	増減金額 (百万円)	+3,933	<ul style="list-style-type: none"> ■ 販売管理費率が上昇（+0.3pt.）するも、粗利率改善（+1.1pt.）により、営業利益率は改善（+0.8pt.）。
					増減率	+19.7%	
					売上比増減	+0.8%	
当期純利益 (法人税等税率)	13,421 (30.6%)	8.4%	16,773 (30.2%)	9.4%	増減金額 (百万円)	+3,352	<ul style="list-style-type: none"> ■ 当期純利益額は対前年+25.0%。営業利益率上昇（+0.8pt.）により、当期純利益率上昇（+1.0pt.）。
					増減率	+25.0%	
					売上比増減	+1.0%	

損益計算書サマリー 3/3 対計画

	2023年度Q3累計 計画 (A)		2023年度Q3累計 実績 (B)		増減 (B-A)		
	金額 (百万円)	売上比	金額 (百万円)	売上比			
売上高	185,908	—	179,373	—	増減金額 (百万円)	△6,534	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業者向けネット通販事業：注文顧客当売上減を主因に計画未達。 ■ 購買管理システム事業（大企業連携）：特定大手顧客の売上未達を主因に計画未達（△2.6%）。 ■ ロイヤリティ受領額減。
					増減率	△3.5%	
					売上比増減	—	
売上総利益	55,363	29.8%	54,389	30.3%	増減金額 (百万円)	△973	<ul style="list-style-type: none"> ■ 商品粗利率増（+0.5pt：国内・輸入商品とも商品粗利率改善）。 ■ 配送料・諸掛率改善（+0.4pt：注文単価増による配送料率減、輸入品輸送料率改善等）。 ■ ロイヤリティ受領額減。
					増減率	△1.8%	
					売上比増減	+0.5%	
販売管理費	31,818	17.1%	30,485	17.0%	増減金額 (百万円)	△1,333	<ul style="list-style-type: none"> ■ その他費率減（△0.4pt：営繕費、備品消耗品費、システム利用料、梱包費減等）。 ■ 業務委託費率減（△0.2pt：出荷箱数減による倉庫派遣費用減、システムエンジニア派遣費用減等）。 ■ 設備賃借費率増（+0.1pt：売上計画比減に伴う費率増）。 ■ 減価償却費率増（+0.1pt：売上計画比減に伴う費率増）。 ■ 広告宣伝費率増（+0.3pt：既存顧客向けチラシ発送増等）。
					増減率	△4.2%	
					売上比増減	△0.1%	
営業利益	23,545	12.7%	23,904	13.3%	増減金額 (百万円)	+359	<ul style="list-style-type: none"> ■ 売上は計画を下回ったものの、粗利率改善と販売管理費率減により、営業利益額増（+1.5%）。
					増減率	+1.5%	
					売上比増減	+0.6%	
当期純利益 (法人税等税率)	16,323 (30.6%)	8.8%	16,773 (30.2%)	9.4%	増減金額 (百万円)	+449	<ul style="list-style-type: none"> ■ 営業利益の対計画増により、当期純利益額増（+2.8%）、利益率改善（+0.6pt.）。
					増減率	+2.8%	
					売上比増減	+0.6%	

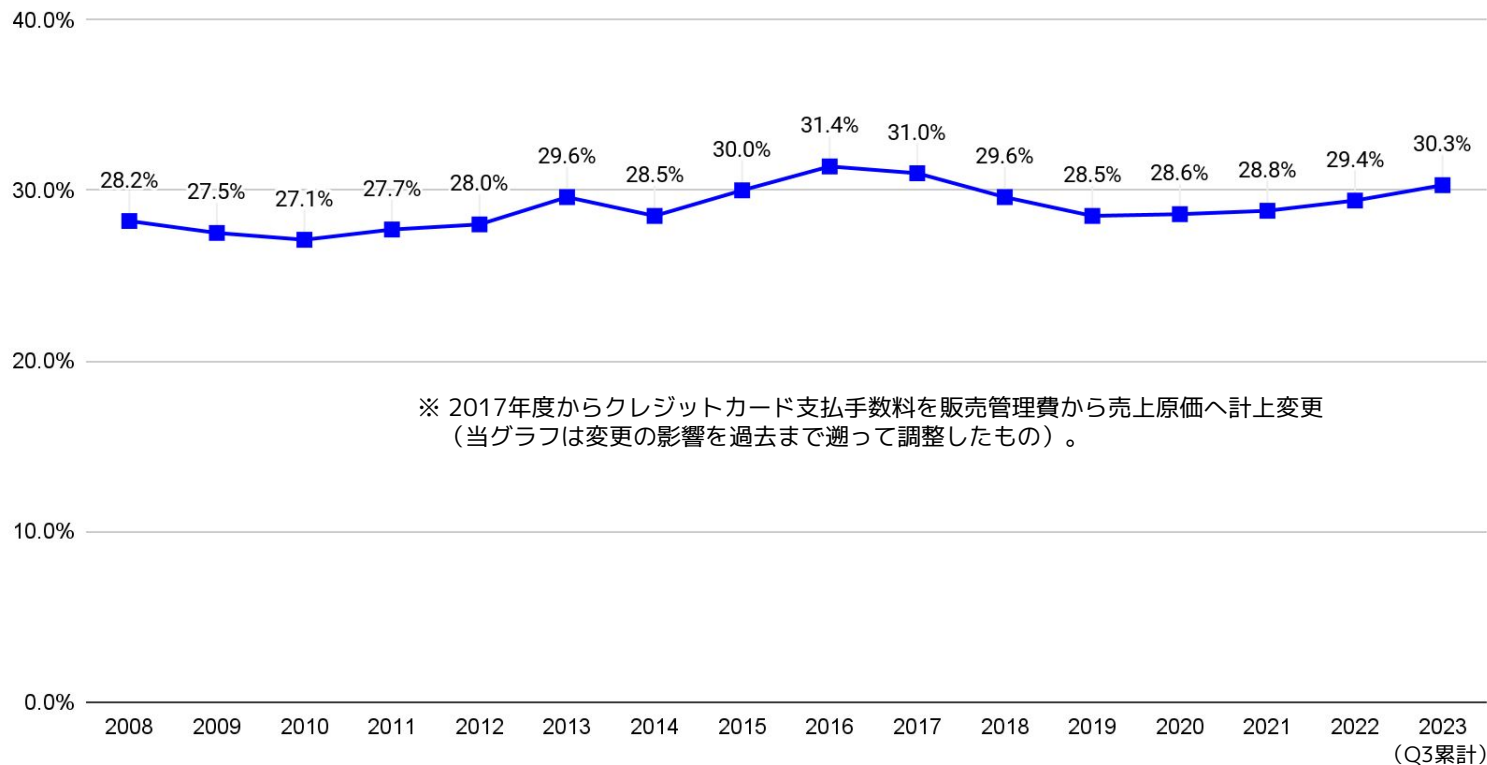
売上・登録口座数推移



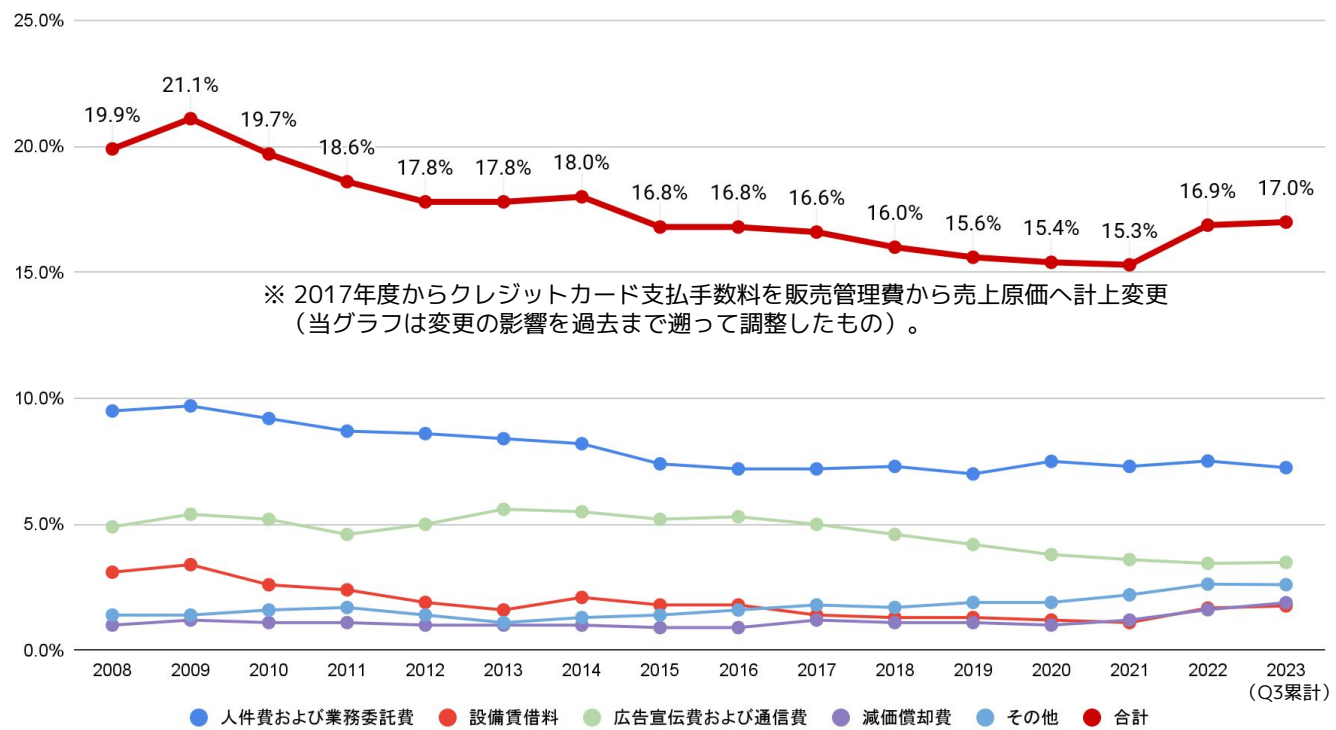
	2022年12月末		2023年9月末		2023年12月末 (計画)	
登録口座数	8,006,494	+1,227,175	8,845,412	+838,918	9,188,494	+1,182,000
		(対2021年12月末)		(対2022年12月末)		(対2022年12月末)

※ 新型コロナウイルスのパンデミック以降、一般消費者顧客の登録が急増していたが、2023年は昨年比で減少するため、新規顧客獲得計画件数は昨年比で減少する見込。但し、法人顧客獲得については前年から微増する計画。

売上総利益率推移



販売管理費率推移



費目ごとの売上比		
	2022Q3 累計実績	2023Q3 累計実績
人件費	4.3%	4.6%
業務委託費	3.1%	2.6%
設備賃借料	1.6%	1.8%
広告宣伝費	2.9%	3.3%
通信費	0.5%	0.2%
減価償却費	1.6%	1.9%
その他	2.7%	2.6%
計	16.7%	17.0%

- 物流関連コスト2023Q3累計売上比実績：7.5%
 - ・ 対前年同期：△0.2pt.
 - 減価償却費率：+0.2pt.（猪名川DC稼働開始等）
 - 設備賃借料率：+0.2pt.（猪名川DC稼働開始等）
 - 人件費・業務委託費率：△0.3pt.（箱当り売上増による売上当り出荷箱数減、猪名川DCの生産性上昇等）
 - その他費用率：△0.2pt.（猪名川DC第2期稼働準備費用が前年同期の第1期分より減等）
 - ・ 対計画：△0.3pt.
 - その他費用率：△0.2pt.（DC設備の保守・修繕の未発生、備品費・梱包費の見込差異等）
 - 人件費・業務委託費率：△0.1pt.（箱当り売上増による売上当り出荷箱数減等）

	2022年度Q3累計実績		2023年度Q3累計計画		2023年度Q3累計実績			
	金額（百万円）	売上比	金額（百万円）	売上比	金額（百万円）	売上比	前年比	計画比
売上高（単体）	159,405		185,908		179,373		+12.5%	△3.5%
減価償却費	1,707	1.1%	2,294	1.2%	2,249	1.3%	+31.8%	△2.0%
人件費・業務委託費	5,954	3.7%	6,445	3.5%	6,059	3.4%	+1.8%	△6.0%
設備賃借料	2,260	1.4%	2,867	1.5%	2,799	1.6%	+23.9%	△2.3%
その他費用	2,380	1.5%	2,878	1.5%	2,271	1.3%	△4.6%	△21.1%
合計	12,302	7.7%	14,485	7.8%	13,379	7.5%	+8.8%	△7.6%

貸借対照表サマリー

		2022年 9月	2022年 12月	2023年 9月	
		金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	構成比
資産の部					
流動 資産	現預金	4,556	7,318	7,505	6.4%
	売掛金	24,365	26,108	28,146	24.1%
	棚卸資産	17,823	18,319	18,574	15.9%
	その他	7,335	7,726	7,659	6.6%
流動資産合計		54,082	59,472	61,886	53.0%
固定 資産	有形固定資産	35,080	34,818	37,128	31.8%
	無形固定資産	6,213	6,291	6,359	5.4%
	投資その他資産	9,877	10,198	11,377	9.7%
固定資産合計		51,171	51,309	54,865	47.0%
資産合計		105,253	110,781	116,751	

		2022年 9月	2022年 12月	2023年 9月	
		金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	構成比
負債の部					
流動 負債	買掛金	14,680	14,961	15,726	13.5%
	短期借入金等	6,500	4,500	4,500	3.9%
	その他	8,957	10,623	10,393	8.9%
流動負債合計		30,137	30,084	30,619	26.2%
固定負債		7,102	7,059	3,177	2.7%
負債合計		37,240	37,144	33,797	28.9%
純資産の部					
株主資本合計		67,979	73,603	82,925	71.0%
新株予約権		34	33	28	0.0%
純資産合計		68,013	73,637	82,954	71.1%
負債・純資産合計		105,253	110,781	116,751	

※短期借入金等：短期借入金および1年以内返済長期借入金。

2023年12月期 第3四半期 【連結】決算概要

	2022年度Q3累計 実績		2023年度Q3累計 計画		2023年度Q3累計 実績			
	金額 (百万円)	売上比	金額 (百万円)	売上比	金額 (百万円)	売上比	前年比	計画比
売上高	165,993		194,273		187,223		+12.8%	△3.6%
売上総利益	47,846	28.8%	57,210	29.4%	55,965	29.9%	+17.0%	△2.2%
販売管理費	28,522	17.2%	34,422	17.7%	33,045	17.7%	+15.9%	△4.0%
営業利益	19,323	11.6%	22,787	11.7%	22,919	12.2%	+18.6%	+0.6%
経常利益	19,566	11.8%	22,756	11.7%	23,145	12.4%	+18.3%	+1.7%
当期純利益 (法人税等税率)	12,787 (31.7%)	7.7%	15,565 (31.6%)	8.0%	15,773 (31.6%)	8.4%	+23.4%	+1.3%
親会社株主に帰属 する当期純利益	13,119	7.9%	15,906	8.2%	16,171	8.6%	+23.3%	+1.7%

■ NAVIMRO（韓国）

- ・大企業顧客からの注文拡大等もあり、売上は前年から2桁成長は維持するも、経済環境が厳しく計画未達。
- ・2023年7月に新倉庫稼働開始。移転に伴う混乱があったが、一時的な増員等により正常化に向かいつつある。

	2022年度Q3累計 実績			2023年度Q3累計 計画			2023年度Q3累計 実績				
	金額 (億円)	前年同期比	現地通貨 前年同期比	金額 (億円)	前年同期比	現地通貨 前年同期比	金額 (億円)	前年同期比	計画比	現地通貨 前年同期比	現地通貨 計画比
売上	56.5	+19.4%	+13.6%	68.1	+20.4%	+19.4%	66.4	+17.5%	△2.5%	+11.6%	△6.5%
営業利益	1.2	+7.1%	+1.9%	0.1	△87.1%	△87.2%	△1.0	-	-	-	-
当期純利益×持分 <small>（※注1）</small>	1.1	+11.4%	+6.0%	0.0	△97.3%	△97.4%	△1.0	-	-	-	-

■ MONOTARO INDONESIA（インドネシア）

- ・法人顧客の獲得は伸長するも、主にライトユーザーからの売上の計画未達が影響し、全売上の計画未達。
- ・現在、主要な売上はジャカルタ周辺からの注文によるが、第2の都市スラバヤに事務所開設。

	2022年度Q3累計 実績			2023年度Q3累計 計画			2023年度Q3累計 実績				
	金額 (億円)	前年同期比	現地通貨 前年同期比	金額 (億円)	前年同期比	現地通貨 前年同期比	金額 (億円)	前年同期比	計画比	現地通貨 前年同期比	現地通貨 計画比
売上	4.9	+80.7%	+56.0%	7.8	+58.6%	+56.8%	6.9	+40.0%	△11.7%	+33.9%	△14.6%
営業利益	△1.9	-	-	△1.4	-	-	△2.3	-	-	-	-
当期純利益×持分 <small>（※注1）</small>	△1.0	-	-	△0.7	-	-	△1.2	-	-	-	-

※注1：当期純利益に各年度末時点の持分比率を乗じた参考値。

■ IB MonotaRO（インド）

- 商品カテゴリ・販売地域毎の売上・利益状況等から注力すべきセグメントを選定し、売上増と粗利率改善の両立を図るべく、取組みを継続。
- 取寄商品含め、自社倉庫で出荷をコントロールできる商品の割合を増加させ（マーケットプレイス型中心の事業モデルからの転換）、サービス水準の向上・リピート率の向上を図る。第三の倉庫建設を計画中。

	2022年度Q3累計 実績			2023年度Q3累計 計画			2023年度Q3累計 実績				
	金額 (億円)	前年同期比	現地通貨 前年同期比	金額 (億円)	前年同期比	現地通貨 前年同期比	金額 (億円)	前年同期比	計画比	現地通貨 前年同期比	現地通貨 計画比
(※注2) 流通総額 (GMV)	7.7	+153.0%	+124.2%	11.1	+43.6%	+42.7%	9.3	+20.8%	△15.8%	+19.4%	△16.3%
(※注2) 売上	5.1	+162.3%	+132.5%	7.6	+47.2%	+46.3%	6.0	+17.0%	△20.5%	+15.6%	△21.0%
営業利益	△5.1	-	-	△5.6	-	-	△5.6	-	-	-	-
当期純利益×持分 (※注1)	△2.5	-	-	△2.8	-	-	△2.9	-	-	-	-

※ 注1：当期純利益に各年度末時点の持分比率を乗じた参考値。

※ 注2：マーケットプレイスでの出品者による販売は手数料部分のみを売上として計上。

貸借対照表サマリー

	2022年 9月	2022年 12月	2023年 9月		
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	構成比	
資産の部					
流動 資産	現預金	5,868	8,887	8,328	7.1%
	売掛金	24,718	26,512	28,632	24.4%
	棚卸資産	19,037	19,585	19,959	17.0%
	その他	7,733	8,060	8,009	6.8%
流動資産合計	57,357	63,045	64,930	55.3%	
固定 資産	有形固定資産	35,158	35,046	38,380	32.7%
	無形固定資産	7,118	7,093	7,184	6.1%
	投資その他資産	6,170	6,551	6,970	5.9%
固定資産合計	48,447	48,691	52,535	44.7%	
資産合計	105,805	111,737	117,465		

	2022年 9月	2022年 12月	2023年 9月		
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	構成比	
負債の部					
流動 負債	買掛金	15,195	15,667	16,365	13.9%
	短期借入金等	6,589	4,772	4,722	4.0%
	その他	9,441	11,135	11,013	9.4%
流動負債合計	31,226	31,575	32,101	27.3%	
固定負債	7,194	7,539	3,753	3.2%	
負債合計	38,420	39,115	35,854	30.5%	
純資産の部					
株主資本合計	66,249	71,789	80,386	68.4%	
その他	1,135	832	1,224	1.0%	
純資産合計	67,385	72,621	81,611	69.5%	
負債・純資産合計	105,805	111,737	117,465		

※ 短期借入金等：短期借入金および一年以内返済長期借入金。

キャッシュフローサマリー

	2022年度Q3累計実績	2023年度Q3累計実績
	金額（百万円）	金額（百万円）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	18,722	23,047
減価償却費	2,583	3,497
売上債権の増減額（△は増加）	△2,124	△2,078
棚卸資産の増減額（△は増加）	△3,527	△272
仕入債務の増減額（△は減少）	600	653
法人税等の支払額	△7,317	△8,064
未払消費税等の増減額	△114	943
その他	1,367	△190
計	10,190	17,536
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産取得による支出	△9,093	△4,347
無形固定資産取得による支出	△1,749	△1,566
その他	（※注） △1,005	△744
計	△11,849	△6,659
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	－	△4,500
配当金の支払額	△6,080	△7,439
その他	1,968	259
計	△4,112	△11,680
現金および現金同等物に係る換算差額	415	27
現金および現金同等物の増減額（△は減少）	△5,355	△775
現金および現金同等物の期首残高	11,068	8,586
現金および現金同等物の期末残高	5,713	7,811

※注：アルダグラム社への出資等。

2023年12月期 第3四半期 事業計画・戦略

単体計画サマリー

	2022年度実績		2023年度計画		
	金額（百万円）	売上比	金額（百万円）	売上比	前年比
売上高	216,638		253,373		17.0%
内 大企業連携	50,027	23.1%	69,250	27.3%	38.4%
売上総利益	63,643	29.4%	75,672	29.9%	18.9%
販売管理費	36,558	16.9%	42,711	16.9%	16.8%
営業利益	27,085	12.5%	32,960	13.0%	21.7%
経常利益	27,239	12.6%	32,918	13.0%	20.8%
当期純利益 (法人税等税率)	19,044 (27.8%)	8.8%	23,283 (29.2%)	9.2%	22.3%

連結計画サマリー 1/2

	2022年度実績		2023年度計画		
	金額（百万円）	売上比	金額（百万円）	売上比	前年比
売上高	225,970		265,195		17.4%
売上総利益	65,437	29.0%	78,288	29.5%	19.6%
販売管理費	39,224	17.4%	46,258	17.4%	17.9%
営業利益	26,213	11.6%	32,030	12.1%	22.2%
経常利益	26,398	11.7%	31,986	12.1%	21.2%
当期純利益 (法人税等税率)	18,194 (28.8%)	8.1%	22,347 (30.1%)	8.4%	22.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	18,658	8.3%	22,789	8.6%	22.1%

※注：公表済の連結業績予想に対して期中最新の連結業績予想が下記変動幅のいずれかを超過した場合、修正開示を行う。

連結売上高：±5%、連結営業利益：±10%、連結経常利益：±10%、親会社株主に帰属する当期純利益：±10%

■ NAVIMRO (韓国)

	2022年度 実績			2023年度 計画		
	金額(億円)	前年比	現地通貨前年比	金額(億円)	前年比	現地通貨前年比
売上	80.3	+21.0%	+14.1%	95.3	+18.7%	+18.7%
営業利益	1.9	+17.9%	+11.2%	0.7	△63.1%	△63.1%
当期純利益×持分 (※注1)	1.9	+22.5%	+15.6%	0.5	△73.4%	△73.4%

■ MONOTARO INDONESIA (インドネシア)

	2022年度 実績			2023年度 計画		
	金額(億円)	前年比	現地通貨前年比	金額(億円)	前年比	現地通貨前年比
売上	7.3	+84.5%	+59.6%	11.5	+57.9%	+57.9%
営業利益	△2.5	-	-	△1.7	-	-
当期純利益×持分 (※注1)	△1.3	-	-	△0.8	-	-

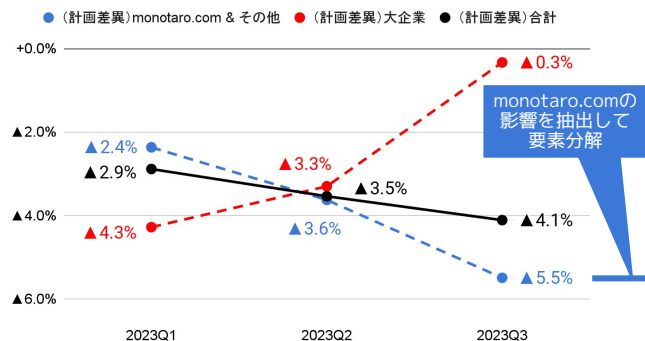
■ IB MONOTARO (インド)

	2022年度 実績			2023年度 計画		
	金額(億円)	前年比	現地通貨前年比	金額(億円)	前年比	現地通貨前年比
(※注2) 流通総額 (GMV)	10.4	+116.1%	+92.9%	16.4	+57.6%	+57.6%
(※注2) 売上	6.9	+120.2%	+96.6%	11.3	+63.4%	+63.4%
営業利益	△7.3	-	-	△7.5	-	-
当期純利益×持分 (※注1)	△3.6	-	-	△3.7	-	-

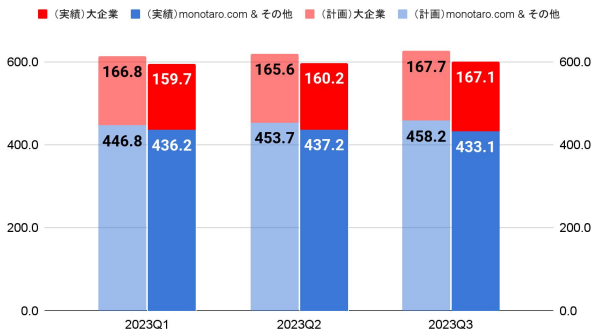
※注1：当期純利益に各年度末時点の持分比率を乗じた参考値。

※注2：マーケットプレースでの出品者による販売は手数料部分のみを売上として計上。

販売チャネル毎売上差異 計画対実績(%)



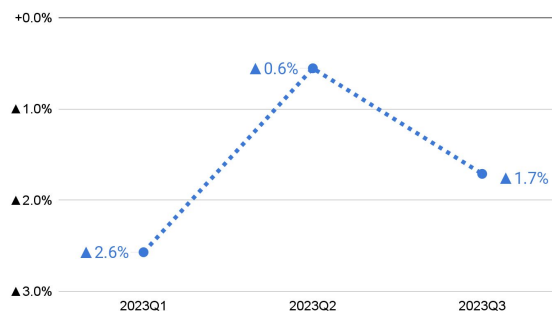
販売チャネル毎売上 計画対実績(億円)



※ monotaro.com & その他の「その他」は、ロイヤリティ、海外越境EC売上等を含む。

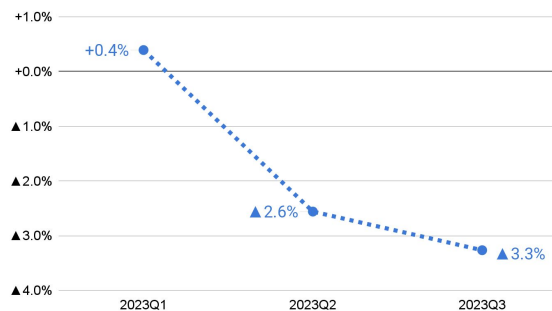
事業者向けネット通販事業 (monotaro.com)

注文顧客数差異(%)



- 注文顧客数は、前年度獲得数の増加が緩やかであったこと等により、Q1実績は計画から減少。
- 受注頻度の低い既存顧客の再活性化を目的としたチラシの効果徐徐に表れてきており、注文顧客数はQ2から改善傾向。
- チラシの内容を含め、顧客とのコミュニケーション方法の改善を継続。

注文顧客当売上差異(%)



- インフレに対応し販売価格を上げたが、販売行数、行当販売数量の減により、Q1注文顧客当売上は計画から微増。
- Q2以降、注文顧客当売上は計画から減。
- 他社・当社との価格差に問題が発生しているとは考えておらず、販売数量の減少はマクロ環境の影響を受けている可能性有り。
- 不況時に落ち込みやすい買替需要商品の売上が落ち始めている。

注文顧客数差異

注文顧客当売上差異

■ 購買管理システム事業（大企業連携）

新規連携企業獲得						契約先営業活動			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自社開催も含め間接資材購買の生産性向上に関するセミナーを開催。 ・ 新規連携社数は本年度計画通りに推移。 						<ul style="list-style-type: none"> ・ 営業員の能力を引き出すチームを組織し、チームの営業手法を開発することで、既存顧客の顧客内シェア増に取り組む。 			
2022年Q3累計 実績			2023年Q3累計 計画			2023年Q3累計 実績			
金額（百万円）	前年同期比	売上合計比	金額（百万円）	前年同期比	売上合計比	金額（百万円）	前年同期比	計画比	売上合計比
36,116	+39.7%	22.7%	50,026	+38.5%	26.9%	48,709	+34.9%	△2.6%	27.2%
			2022年度 Q4末		2023年度 Q3末				
			企業数		企業数		前年度末比		検討中企業数
連携企業数（内、ONE SOURCE / ONE SOURCE Lite）			（※注） 2,521（1,847）		（※注） 3,386（2,640）		+865（+793）		834社

※注：2022年12月・2023年9月のアクティブ企業数。

■ ロイヤリティ事業

		2023年Q3累計	
対象事業（Grainger社 米・英Zoroビジネス）		<ul style="list-style-type: none"> ・ 第3四半期累計のZoroの米国売上は前年を上回るも、成長スピードは予想を下回った。 ・ 第3四半期累計の営業利益率は前年同期比で低下。 	
ロイヤリティ受領額		<ul style="list-style-type: none"> ・ 第3四半期累計の受取額は前年同期比、計画比ともに減少。 	

■ 販売管理費（2023年Q3累計）対計画

販売管理費増減内訳	金額（百万円）
<ul style="list-style-type: none"> 売上減に伴う変動費減 （売上減に伴い減となる物流関連人件費・業務委託費、梱包費等減） 	約△2.7億円
<ul style="list-style-type: none"> 販売価格調整（値上げ）に伴う出荷箱数減 （物流拠点業務減による物流関連人件費・業務委託費減） 	約△4.8億円
<ul style="list-style-type: none"> Q4へ実施延期 （システムコンサル/業務委託、物流消耗備品購入、物流設備保守・修理） 	約△0.7億円
<ul style="list-style-type: none"> その他計画からの販売管理費減（物流関連費用） （物流設備修理・建物管理費用未発生、外部倉庫賃借料減等） 	約△5.7億円
<ul style="list-style-type: none"> その他計画からの販売管理費減（物流関連以外） （システム開発委託費減、クラウドサービス費用減、システム利用料減、採用費減等） 	約△6.6億円
<ul style="list-style-type: none"> 実施決定の追加施策 （既存顧客向けチラシ発送増の施策を実施したことによる広告宣伝費増等） 	約+4.6億円
<ul style="list-style-type: none"> アルバイト従業員への賞与支給 	約+2.6億円
合計	約△13.3億円

サステナビリティ

■ 2023年サステナビリティ進展事項 (Q1~Q3)

		2022年末までの取組み	2023年の取組み	
サステナビリティ優先取組み分野	環境	気候変動対策としてのCO2排出量の削減	<ul style="list-style-type: none"> 2021年のCO2排出量第三者検証完了。 GHG排出量 (Scope1+Scope2) において、2030年までに2020年比で50%削減する目標を設定。 気候変動に係るリスク及び収益機会が自社の事業活動や収益等に与える影響についてTCFD提言に基づき開示。 	<ul style="list-style-type: none"> 猪名川DCで使用する電力を実質再生可能エネルギーに変更。 茨城中央SCの屋根に断熱塗料を塗布。 猪名川DCにおけるAGV稼働エリアの照明照度の適正化 (人不在エリアの照度抑制)。
		環境配慮型商品の開発と提案	<ul style="list-style-type: none"> 当社顧客が環境配慮に取り組むための効率的間接資材購買をサポート。 2022年10月27日、monotaro.com において、エコロジープロダクト特集ページを公開。環境配慮属性を追加し、絞り込みが可能。 「グリーン購入」や「エコマーク」等の環境6認証を、エコロジープロダクト(環境配慮型商品)と定義。 	<ul style="list-style-type: none"> 環境配慮型商品の対象認証を10認証に拡大。 対象商品点数の充実。
		資源循環型モデルの実現	<ul style="list-style-type: none"> 笠間DC・茨城中央SCにおいて、外装破損等により商品として販売できなくなった一部の商品を社内消耗品として使用開始。 	<ul style="list-style-type: none"> 取引先と協働し輸送時破損商品の削減。 在庫数量適正化による期限切れ商品の削減。
		サステナブル調達の実行	<ul style="list-style-type: none"> サステナブル調達 (持続可能性/人権・環境に配慮した調達) に関する取引先との協調について、公的ガイドラインと専門家意見を参考に方針・ガイドラインを策定。 	<ul style="list-style-type: none"> 取引先に調達ガイドライン配布と賛同依頼。 取引先へ自己点検アンケートの依頼・実施・分析。 遵守に向けた監査プロセス、改善支援の検討。
	社会	ダイバーシティ & インクルージョン	<ul style="list-style-type: none"> えるぼし認定 (3つ星) を取得 (2022年2月)。 時間単位有給制度の新設。 D&I スローガン「MoRE!」を策定、公開。 D&I理解促進セミナーを開催 (メンタルヘルス、障がい理解と受け入れサポート、不好治療)。 子育て社員座談会を開催。 	<ul style="list-style-type: none"> くるみん認定を取得 (2023年3月)。 キャリアデザイン休職新設 ファミリーサポート休職新設。 積立有給休暇制度新設。 評価・報酬制度、従業員持株会について開示。 健康経営の推進に向けた取り組み・体制を開示。 ウェルカムバック採用制度、ベビーシッター利用補助制度の導入。

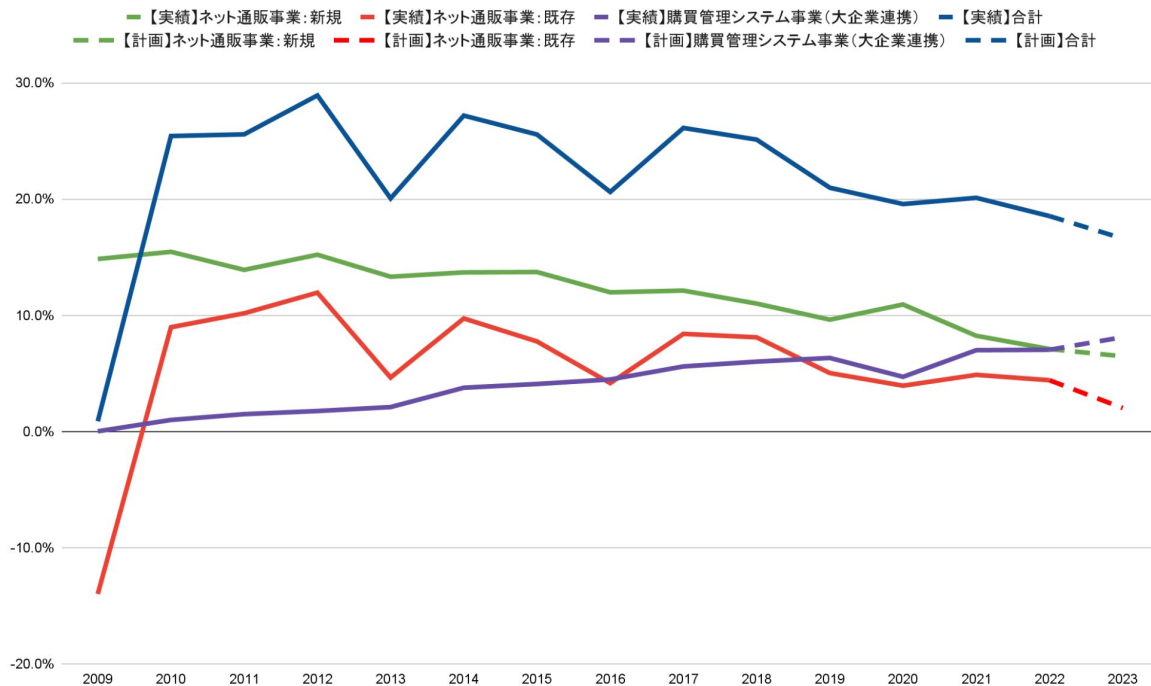
参照

- サステナビリティページ: <https://corp.monotaro.com/ir/sustainability/index.html>



參考資料

単体 売上成長率（事業/新規・既存顧客別貢献度）

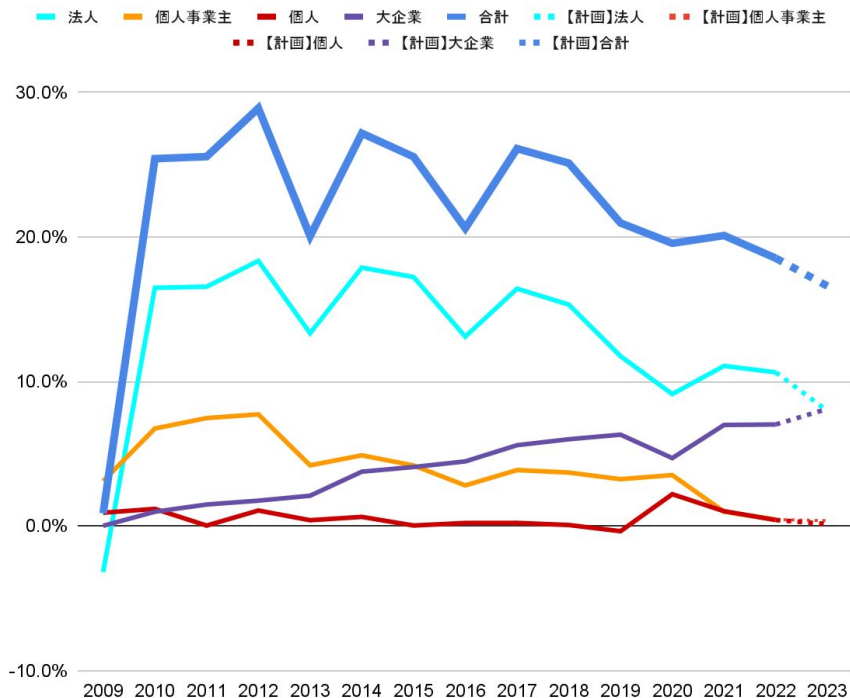


※注1: 2022年度末時点のステータスで遡り、年度毎に対前年の売上全体の成長に占める各チャネルの内訳(貢献度)を整理したもの。

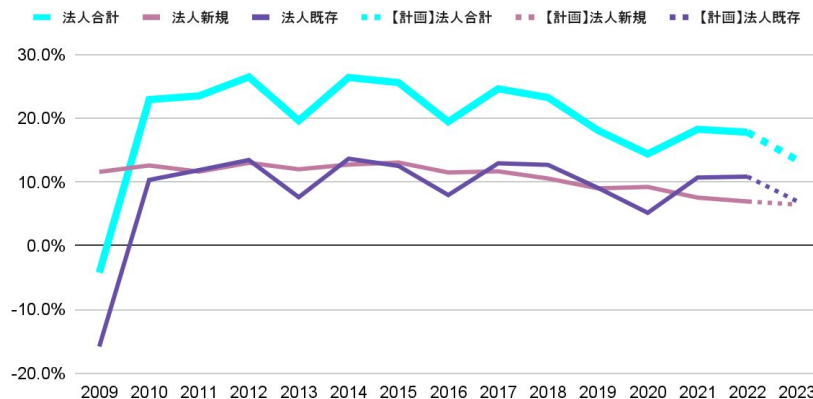
※注2:「ネット通販事業:新規」は、各年度に獲得した顧客からの売上による貢献度、「ネット通販事業:既存」は、前年度以前に獲得した顧客からの売上による貢献度を示す。

単体 売上成長率 (法人/法人新規・既存別貢献度)

売上合計成長率
(monotaro.com法人、大企業、個人事業主、個人消費者 貢献度)



monotaro.com法人売上成長率
(新規・既存 貢献度)



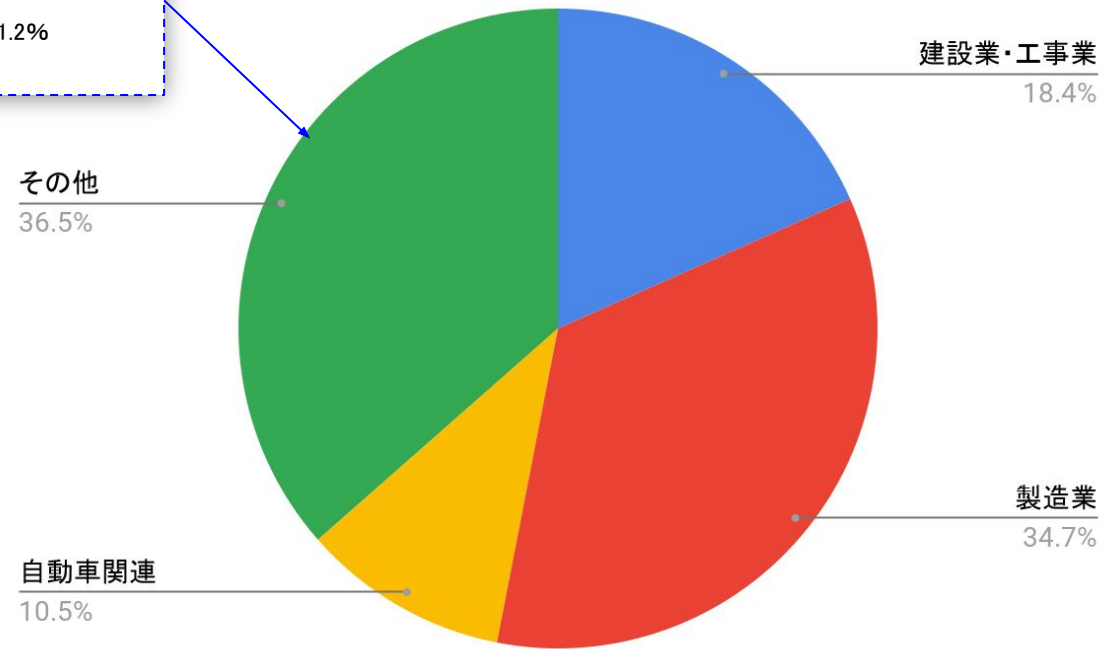
■ monotaro.com法人顧客の成長貢献度・成長

- 売上全体の成長（2022実績は18.7%・2023計画は17.0%）の内、monotaro.com法人顧客の合計売上成長への貢献度は2022実績は約10%・2023計画は約8%。高成長維持の大企業連携の成長貢献度上昇に伴い、monotaro.comの成長貢献度は相対的に下落傾向に見える（左グラフ）。
- monotaro.com法人顧客の売上成長は2022実績は約18%・2023計画は約13%（上グラフ）。

単体 顧客属性

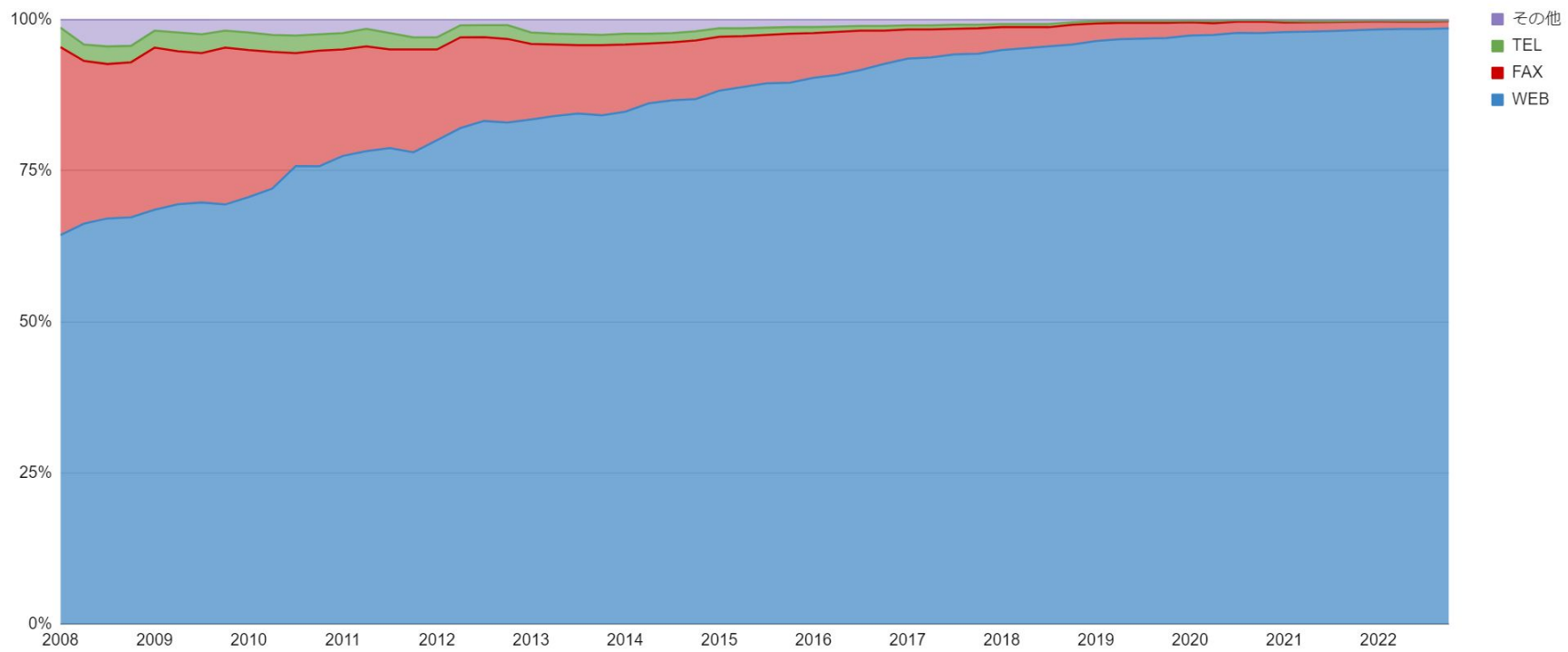
顧客の業種

- 卸売、小売業、飲食店:10.2%
- 教育:2.3%
- 農業:2.2%
- 社会保険・福祉:1.2%
- 医療:1.2%

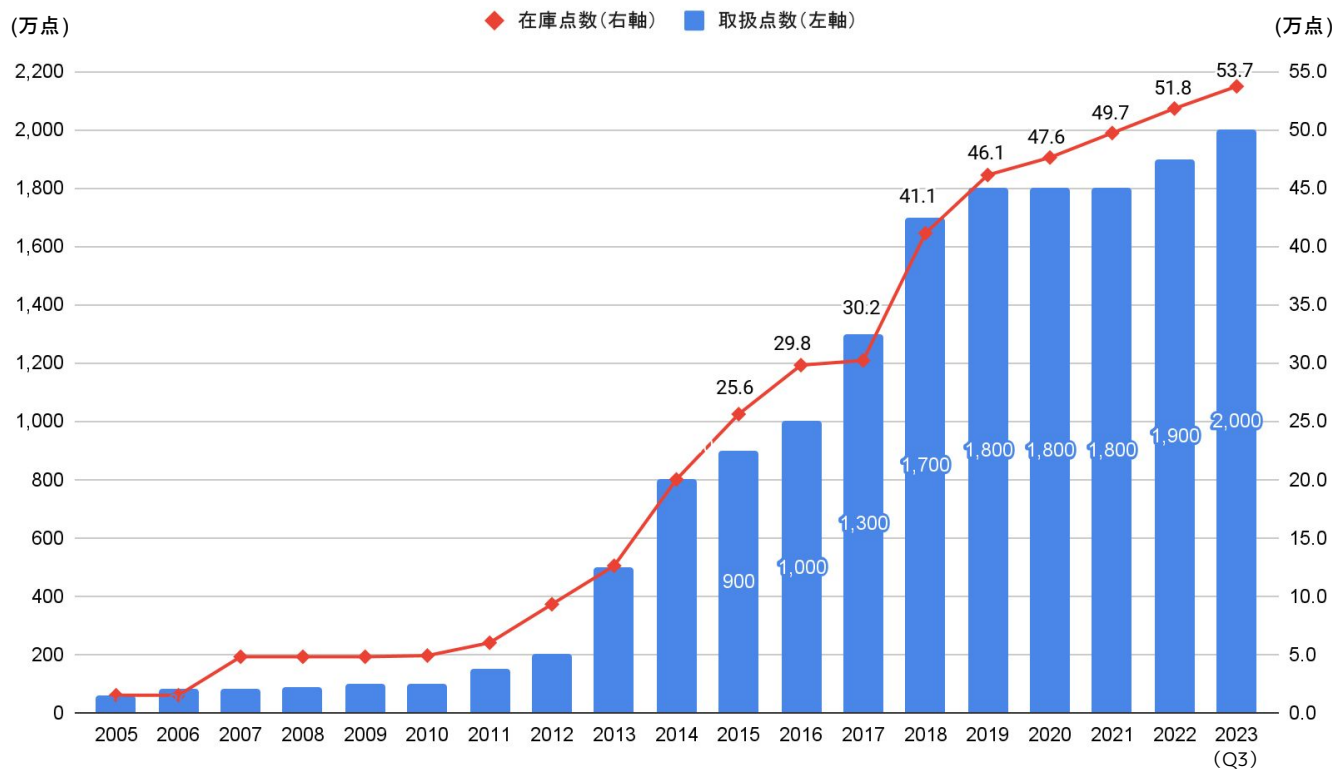


2022年売上ベース
monotaro.com受注のみ(大企業連携を除く)

単体 受注方法比率



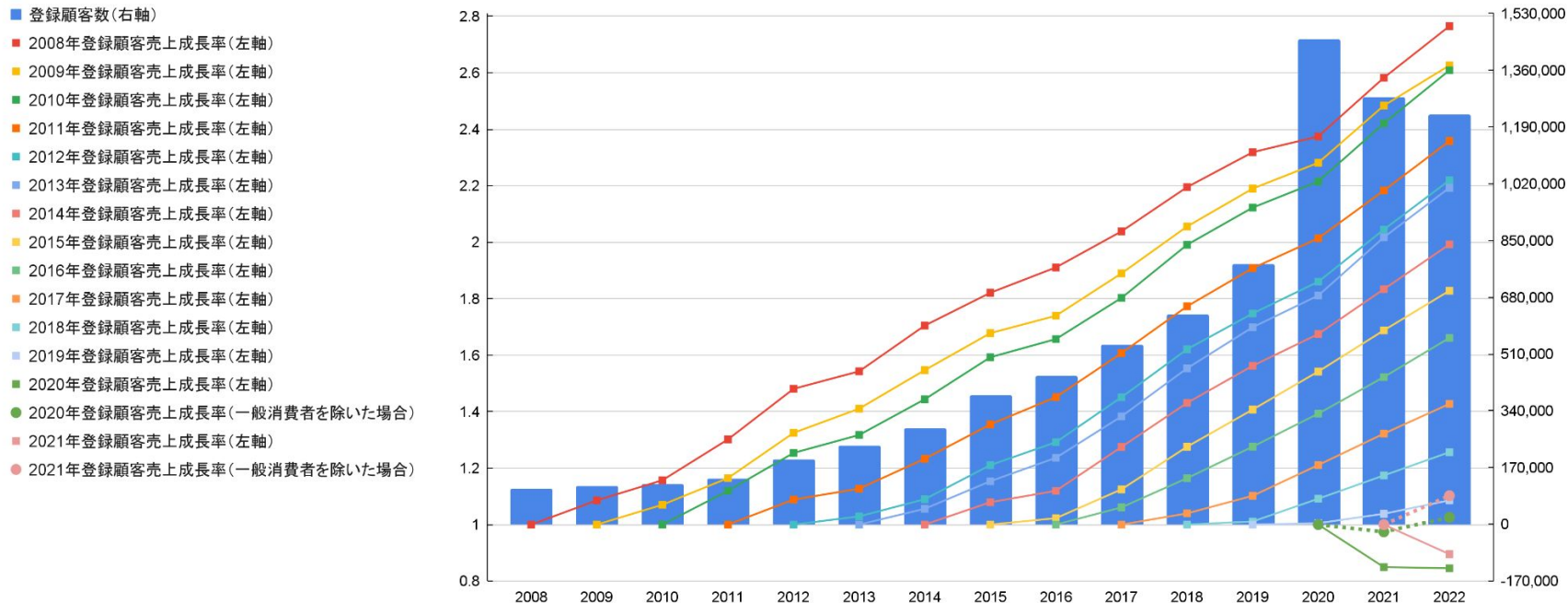
単体 取扱・在庫点数



単体 登録年度別売上成長

(購入金額成長)

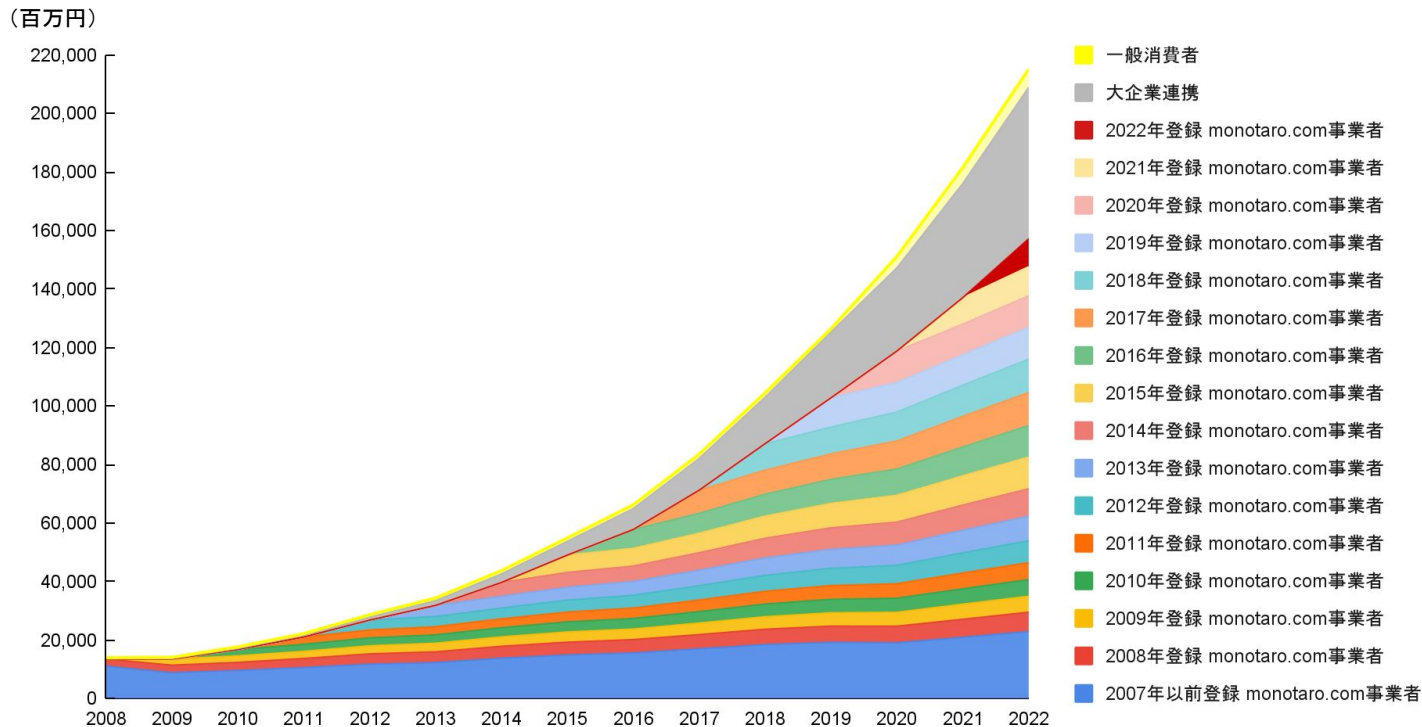
(顧客獲得数)



※注1: 登録顧客数・売上とも 2022年度末時点で事業者向けネット通販事業(monotaro.com)顧客のものを各登録年度まで遡って整理したもの
(購買管理システム事業 /大企業連携へ移行した顧客の売上データは含まれない)。

※注2: 折れ線グラフ(左軸)は該当年度登録顧客の売上成長率。登録年度の売上を1とした場合の倍率。

単体 登録年度別売上推移



※注1: monotaro.com事業者売上は2022年度末時点のステータスで各登録年度毎に遡って整理したもの。

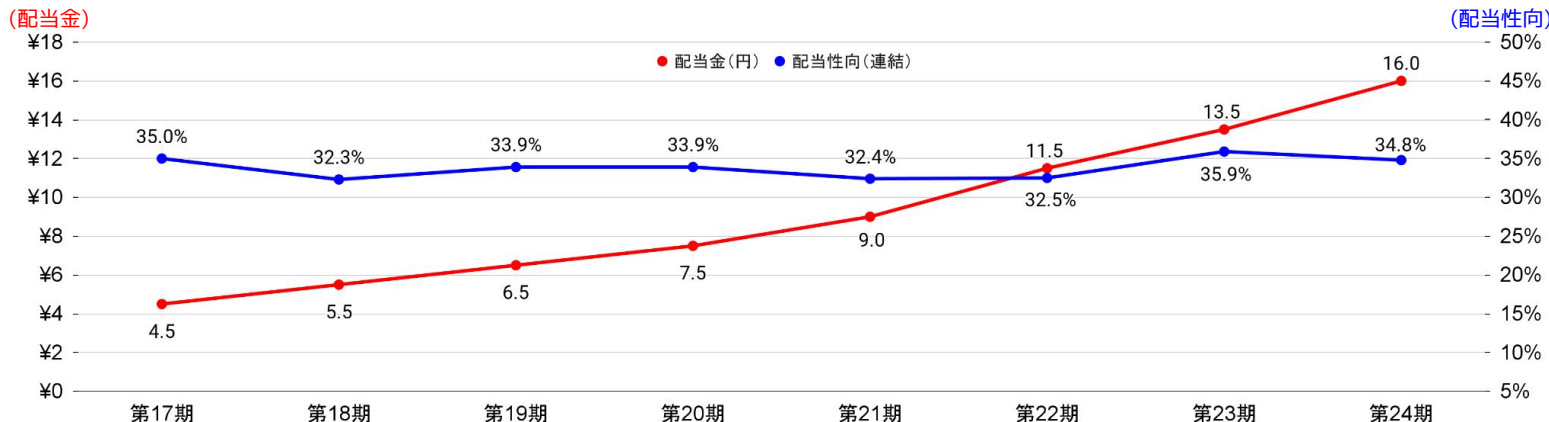
※注2: 大企業連携売上は2022年度末時点のステータスで遡って合算したもの。

※注3: 一般消費者売上はmonotaro.com一般消費者の2022年度末時点のステータスで遡った売上とIHCモノタロウ売上を合算したもの
(IHCは閉鎖・monotaro.comへ統合済)。

株主還元

■ 配当の状況

- ・ 配当方針：安定的かつ継続的な業績成長に見合った成果を配分。
- ・ 第23期（2022年度）配当実績：1株当たり13.5円（中間配当実績 6.5円、期末配当実績 7.0円）。
- ・ 第24期（2023年度）配当計画：1株当たり16.0円（中間配当実績 8.0円、期末配当計画 8.0円）。



■ 株主優待制度

- ・ 12月31日時点で当社株式1単元（100株）を半年以上継続保有されている株主様を対象に実施。
- ・ 継続保有期間（右表）に応じ当社プライベートブランド商品からお選び頂き贈呈。

継続保有期間	優待額
半年以上	3,000円（税抜）
3年以上	5,000円（税抜）
5年以上	7,000円（税抜）

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、計画数値と異なる可能性があることにご留意ください。又、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としていません。

お問い合わせ先

経営管理部門 IR・広報グループ

Tel: 06-4869-7190

Fax: 06-4869-7178

Mail: pr@monotaro.com

IR情報: <https://corp.monotaro.com/ir/index.html>

